



GTFS を用いたバス情報のオープン化

バスロケーションシステム, オープンデータ, GTFS

技術分野分類 1103: 情報ネットワーク

技術キーワード , オープンデータ, GTFS (General Transit Feed Specification)

産業分類 L71: 学術・開発研究機関

内 容	概 要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の世界標準である GTFS を用いたバスデータのオープン化 バス情報を Google マップ に反映してバスを使った経路検索や乗換案内が可能 国交省の「標準的なバス情報フォーマット」に対応した GTFS 生成 Web システムを開発
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	バス情報のオープン化や経路検索サービス事業者に提供するバス情報フォーマットを統一するために, GTFS や標準的なバス情報フォーマットの利用が全国で始まっています。少ない作業負担でバス情報をオープン化するために, バスロケーションシステムで扱っているデータを活用して, GTFS や標準的なバス情報フォーマットを生成する Web システムの研究開発を行っています。
	本技術の有用性	我々のグループが主導して愛知県内のコミュニティバスのオープン化を推進しています。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>GTFSによるオープン化のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> バスサービスの可視化 スマホでよく利用される経路検索に反映! 1つのアプリですべて検索可能 Googleマップを使えば、バス停の場所や名前を知らなくても、目的地までの経路検索ができます。さらに徒歩を含めた鉄道・バスの乗換や乗り継ぎ時間も一発でわかるため、利便性が向上! 多言語対応 外国人でもスマホがあればバスにも乗れます! インバウンド観光の増加も期待できます。 <p>まずは日進市の「くるりんバス」からオープン化します!(愛知県では初)</p>
適用可能製品		
技術 保有者	氏名 所属・役職	鈴木 秀和 (すずき ひでかず) 情報工学部 情報工学科 准教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2017 年 12 月 15 日